

人身事故発生件数(H24～H29)

▼工事事故(物損事故含む)

	4月～10月(7ヶ月)		年間合計	
	事故件数 (被災者数)	死亡者数	事故件数 (被災者数)	死亡者数
平成24年度	50 (52)	5	108 (113)	7
平成25年度	45 (55)	4	99 (111)	8
平成26年度	37 (42)	3	91 (98)	5
平成27年度	43 (44)	6	89 (90)	6
平成28年度	38 (44)	0	98 (98)	5
平成29年度	54 (49)	7	－ －	－

※平成29年11月7日にも死亡事故(土砂崩壊)が1件発生

※平成29年度死亡事故内訳(11月7日時点)

墜落・転落(2件)、はさまれ・まきこまれ(2件)、土砂崩壊(3件)、その他(1件) : 合計(8件)

▼維持管理事故

	4月～10月(7ヶ月)		年間合計	
	事故件数 (被災者数)	死亡者数	事故件数 (被災者数)	死亡者数
平成24年度	10 (11)	1	16 (17)	2
平成25年度	7 (10)	0	11 (16)	2
平成26年度	14 (15)	1	26 (30)	7
平成27年度	8 (8)	2	13 (14)	3
平成28年度	12 (12)	3	29 (31)	4
平成29年度	21 (23)	2	－ －	－

※民間発注工事含む

※カッコ内の数値は被災者数

平成29年度 死亡事故集計

平成29年11月7日現在

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被害者状況	
		事業主体分類	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別 被害状況
1	H29.5.18	3.一般市	1.管きと開削	管布設工 (据え付け)	管路据付の為、掘削内にての作業。 HP管φ800mmを吊り降ろし作業中に、HP管と新設人孔の間に挟まれた。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	43	男 死亡 (重度胸部挫傷)
2	H29.6.26	日本下水道事業団	5.如ボ土木建築	片付け作業	基礎砕石敷き均し作業中のバックホウが移動した際、近くで作業していた被災者(土工)がバックホウのキャタピラの下敷きになった。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	68	男 死亡
3	H29.7.11	1.都道府県	7.如ボその他	植栽管理 (剪定作業)	現場作業終了後、気分が悪くなり日陰で休憩していた作業員に、騒音が聞かれたため、救急車により病院に緊急搬送した。搬送中は意識もあったが、その後体調が急変し死亡した。	現場内	14.その他	31	男 死亡
4	H29.7.25	日本下水道事業団	5.如ボ土木建築	機械工	調整池内において、水位計設置のため、足場組立作業を行っていたところ、足場4段目横の梁の上(作業エリア外)に昇り、6.4M下に墜落した。	現場内	1.墜落・転落	64	男 死亡
5	H29.9.7	1.都道府県	5.如ボ土木建築	仮設工	防食被覆工事のために反応槽上部の汚損防止のブルーシートを貼る養生作業中に、反応槽上部の開口部より、5.6m下の槽内に落下。その後、病院へ搬送されたが死亡。	現場内	1.墜落・転落	35	男 死亡
6	H29.9.29	3.一般市	1.管きと開削	砂基礎工	下水道汚水管渠(管径200mm)布設工事中、深さ2.2メートルまで掘削(掘削幅約95cm、長さ約2m)した掘削溝に、土留め材設置直前であったが、作業員1名が入ってしまつたところ、片壁(幅約70cm、長さ約2.0m)が崩れて、生埋め(胸部より下側)となつた。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	現場内	7.土砂崩壊	35	男 死亡
7	H29.10.27	2.政令市	1.管きと開削	管布設工	開削工法における掘削部での管布設作業中に掘削範囲に不足が生じ、余堀するためアルミ矢板を一部引き抜いたところ、掘削部(深さ2.2m)の土砂が幅32cm、長さ3.6mにわたり崩落し、1名の作業員が全身土砂に埋まり被災した。	現場内	7.土砂崩壊	59	男 死亡 (事故当時は意識不明であったが翌日に死亡)
8	H29.11.7	3.一般市	1.管きと開削	管布設工	マンホール下流側の管渠をマンホールへ接続する(布設する)作業中、土留めを設置していなかつた管渠部分の土砂が崩壊し、作業員が巻き込まれ死亡した。	現場内	7.土砂崩壊	76	男 死亡

平成29年度 死亡事故集計

平成29年11月7日現在

NO.	発生年月日	維持管理作業情報		事故情報			被害者状況		
		事業主体分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
1	H29.7.20	3.一般市	除草	除草作業中に委託先作業員が熱中症により死亡した。	処理場	14.その他	59	男	死亡
2	H29.10.8	1.都道府県	巡視点検作業	体調不良の委託先作業員が浄化センターの巡視点検中に、何らかの原因により意識を喪失し、階段から転落して死亡した。	処理場	1.墜落・転落	41	男	死亡
3	H29.11.2	3.一般市	マンホールポンプ清掃作業	市道に設置しているマンホールポンプ場にて、路上よりマンホール内の清掃を行っていた委託先作業員が乗用車にはねられ死亡した。	その他	8.交通事故	52	男	死亡

【福井県坂井市における水処理施設の防食被覆工事における事故】

- 発 生 日 : 平成29年9月7日 午前10時頃
- 発生場所 : 福井県坂井市三国町池見地係
- 工事概要 : 水処理施設反応槽の防食被覆改築工事
- 人的被害 : 作業員 1名 死亡
- 事故内容 :

防食被覆工事のために反応槽上部の汚損防止のブルーシートを張る養生作業中に、反応槽上部の開口部より、5.6m下の槽内に落下。ブルーシート張り作業は8:30より4人で作業を進めていた。開口部は足場の単管を槽内に運び込むため、蓋を全部開けた状態だった。9:30に作業員の休憩に入ったが、休憩場所に戻って来ず探索したところ槽内で倒れていたところを発見。

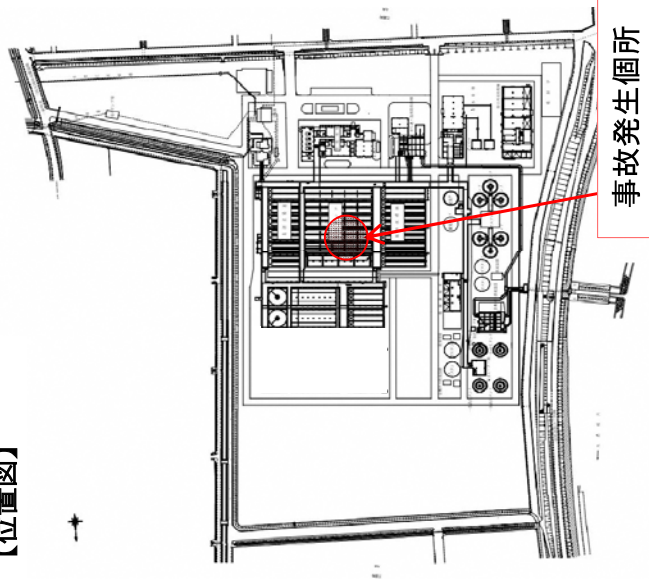
■ 事故原因

- 蓋を開けた時点で反応槽上部から落下する危険性があったにもかかわらず、事前に転落防止の措置をとらなかったことによる。

■ 再発防止策

- 転落防止柵等の設置。

【位置図】



【事故状況図】



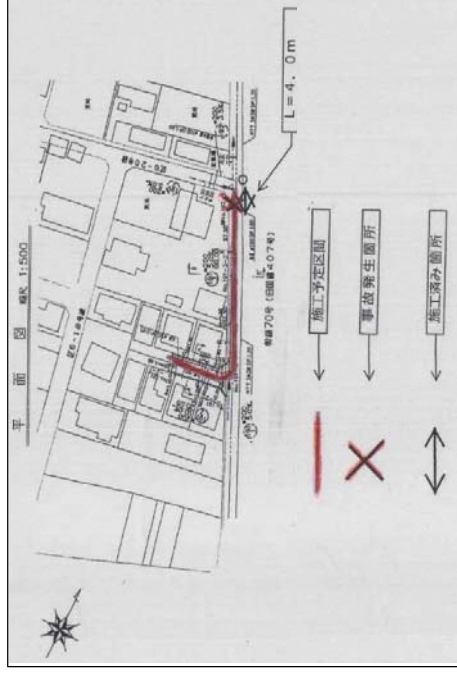
【状況写真】



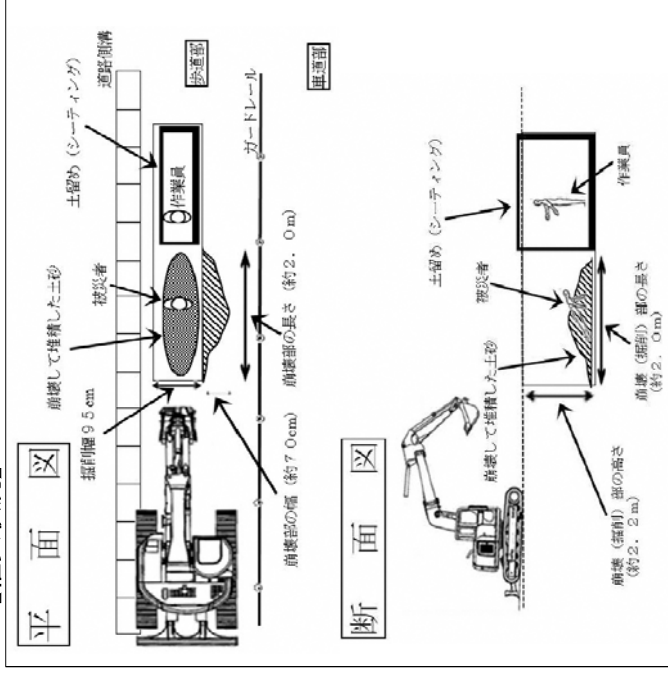
市発注 下水道本管布設工事における死亡事故の発生 (H29.9.29 埼玉県日高市) 国土交通省

- 発 生 日 : 平成29年9月29日 (金) 午後0時20分頃
- 発生場所 : 埼玉県日高市大字高萩53番地1先
- 工事概要 : VUφ200mm 延長80.05m (開削)
- 報 道 : あり
- 事故内容 : 開削工法により管布設工事を施工。
市発注の下水道管布設工事において、
管路掘削工の作業中、土留めシーティング
プレート設置前に掘穴にいたところ、地山
が崩れ、現場代理人が土砂に埋まり死亡事
故が発生した。

【発生場所】



【罹災状況】



【状況写真】



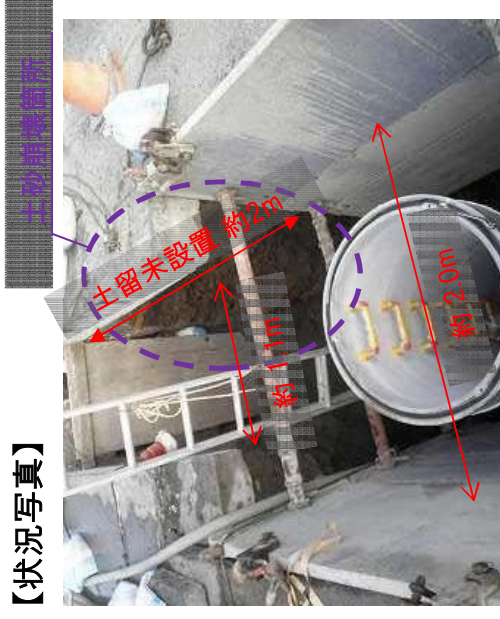
下水道工事における管布設作業者の死亡事故

【下水道工事（開削工法）における土砂崩壊による管布設作業者の死亡事故】

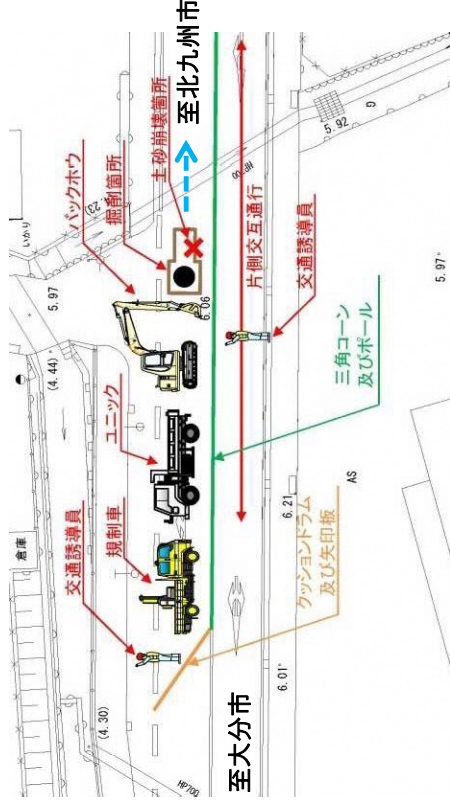
- 発 生 日 : 平成29年11月7日（火）
- 発生場所 : 大分県中津市
- 工事概要 : 管路施設工（リブ付VUφ200・φ150）
〔路線延長 L=513.98m マンホール工 13箇所〕
取付管及びます工 29箇所 付帯工 1式 他）
- 事故内容 : 1号マンホール下流側の管渠をマンホールへ接続する作業を行う際に、管渠部分の土留を設置しておらず、背面の土砂が崩れ、作業員が巻き込まれて死亡したものの。

- 第三者損害 : なし
- 報 道 : あり

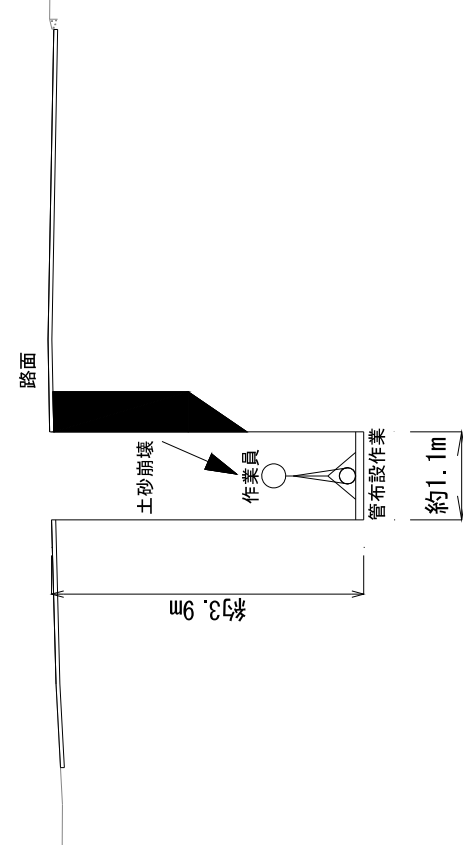
【状況写真】



【平面図】



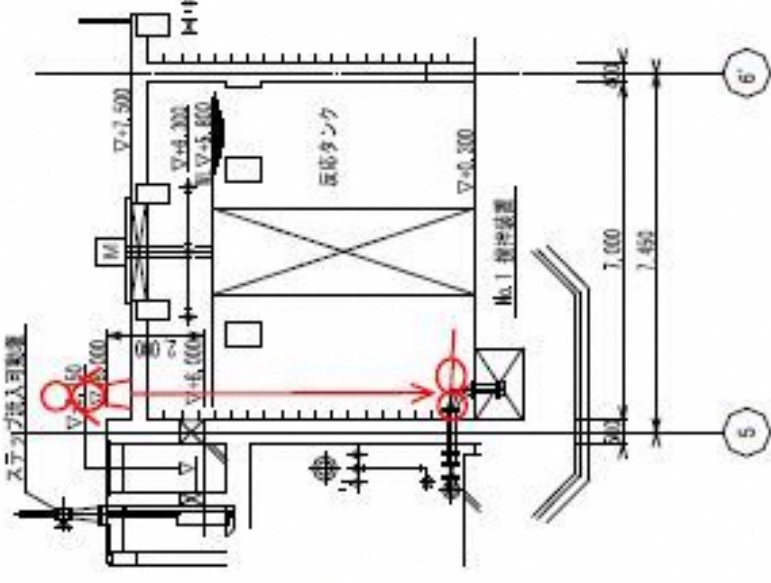
【断面図・状況図】



【反応タンクからの転落事故】

- 発生日時 : 平成29年2月22日（水）12時00分頃
- 発生場所 : 山口県宇部市大字沖宇部地内
- 被災者 : 機械名板工（1次下請、女性）
- 発生状況 : 水処理施設機械設備工事（新設）において、反応タンク上部に設置されている機器に名称を記入していたところ、合成木材蓋が設置してあった開口部から約7.2m下の反応タンク底部まで転落した。
- 被災内容 : 病院へ搬送されたが約9時間後に多発性外傷により死亡。
- 報道 : あり（地元新聞）
- 事故原因 : あり（地元新聞）
- ・ 調査中

【断面図】



【現場状況】



今年度発生した工事故(負傷)について

【発生事例①】：墜落・転落事故

○概要：水処理棟屋上で墨だし作業を3人で行っていたところ、罹災者が後ろ向きに後退した時にパラペット部（高さ45cm）から高さ8m下の草むらに転落。現場に安全帯フック掛け用の親綱と丸環の設置が無いまま墨だし作業を開始していた。

○被害：打撲による内出血と全身に痛み、顔面に切り傷
（1週間程度の入院と通院リハビリ治療）

○再発防止対策：転落防止用手摺の設置義務付け。安全教育、パトロール強化。
保護具着用の徹底。未着用者は工事現場入場禁止。



【発生事例2】：墜落・転落事故

○概要：No.1マンホール築造において、支保工の撤去のため、立坑上部の覆工板を一時的に全撤去した。転落防止柵の設置前であったが、現場責任者が状況確認のために立坑上部に接近し、誤って立坑内（H=4.7m）に墜落し負傷。

○被害：右橈骨・右尺骨・右脛骨・左多発肋骨など複数箇所骨折（90日間休業）

○再発防止対策：転落防止柵を設置できない場合は、開口部付近へ接近しないことを原則とし、やむを得ない場合には状況に応じ転落防止ネット、親綱等を設置し作業を行なう。



報告については**様式1「事故報告様式」（死亡事故の場合は様式2、3）**を使用して速やかに整備局へ報告下さい。

また、昨年度より**パワポによる事故報告様式**も作成頂くようお願いしております。

報告に関しては速報として第1報で状況を報告し、第2報以降で調査内容や対策について詳細にご報告下さい。（位置図、写真、その他資料等も添付すること）

報告内容の中で、事故の概要や対応状況については報告されていますが、再発防止対策についての記載が無いまま最終報告としている状況が多数見受けられます。

最終報までに**再発防止対策について必ず記載**頂きますようお願い致します。

維持管理作業における死亡事故概要について

(H29.11.6付【事務連絡】処理場等の維持管理作業における安全の確保について（交通事故による死亡事故））
【公共下水道マンホールポンプ維持管理作業における交通事故】

■発生日：平成29年11月2日（木）

■発生場所：唐津市相知町

■作業概要：マンホールポンプ保守点検業務（清掃）
・路上からのマンホール内清掃作業
・現場作業は2名で実施（清掃作業と制御盤操作）

■事故内容：唐津市相知町の片側1車線の市道に設置しているマンホールポンプ場にて、マンホール蓋を開け路上よりマンホール内の洗浄作業を行っていたところ、走ってきた乗用車にはねられもの。安全対策状況としては、現場は見通しが良く、交通量が少ないことから、誘導員の配置は行わず、警告板（誘導）などによる表示のみであった。

■第三者損害：なし

■報道：あり

【現地写真】



下水道維持管理に関する事故（H29.2.3 大阪府）

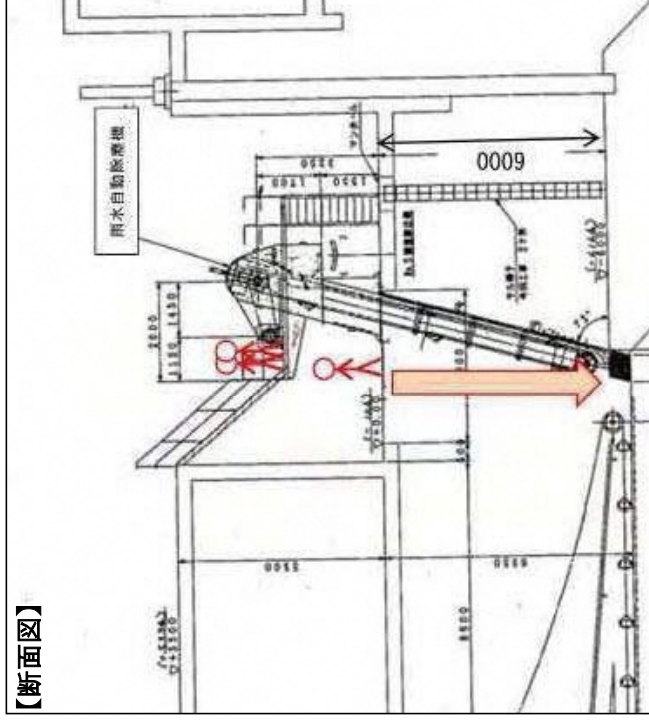
【大阪府における下水道維持管理に関する事故】

- 発 生 日 ：平成29年2月3日（金）
- 発生場所 ：寝屋川流域下水道 新家ポンプ場
大阪府八尾市新家町一丁目地内
- 現場状況 ：新家ポンプ場内での点検作業
- 発生状況 ：雨水沈砂池の自動除塵機点検作業中に、作業者が雨水沈砂池から、通常の点検では開けないグレーチングとともに転落した。
(深さ6 m、水深約60 cm)
- 被害状況 ：死亡
- 報 道 ：あり
- 事故原因 ：グレーチングを開けるといふ予定外の作業を行った。
転落の恐れのある危険な作業を一人で行った。

【事故状況写真】



【断面図】



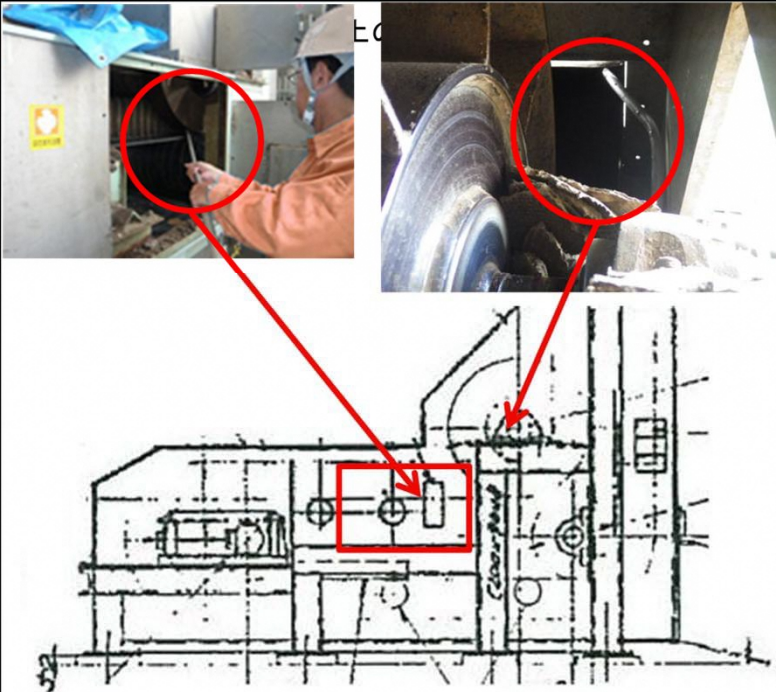
労働災害調査表

一般社団法人日本下水道施設管理業協会

件名	通路を歩行中、床面覆蓋が外れエアタン水路(不使用)に転落しそうになった								
発生年月日曜日	平成28年11月22日(火)			時刻	9:00	天候	10_晴	場所	10_屋内
被災者の人数等						※主たる被災者の状況			
区分	10_不休	11_休業 1-3日以内	12_休業 4日以上	社員	協力社員	職種	15_分析員	年齢	
人数		1人		1人		経験年数	24.9年	性別	10_男
施設	12_処理場施設			傷病名	右下腿挫創				
設備分類	18_その他			程度					
労働災害の種類	10_墜落・転落			状況図	記入開始		記入終了		
発生状況	(誰が、何を、どうして、どうなった)								
	水処理棟脱臭室で水質試験用採水作業を行った際、脱臭室入口通路を歩行中に床面覆蓋(PC板:395mm×795mm)が外れ、エアタン水路(深さ124cm:当時不使用槽)に転落した。								

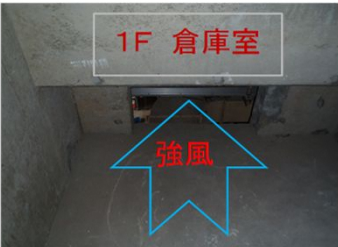
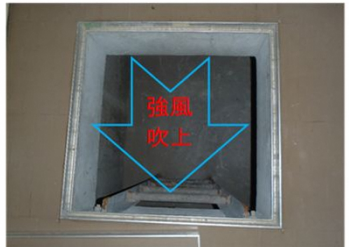
労働災害調査表

一般社団法人日本下水道施設管理業協会

件名	コンベアを運転しながらスクレーパーにてローラーに溜まった脱水ケーキを除去時に被災								
発生年月日曜日	平成28年8月3日(水)		時刻	3:16	天候	10_晴	場所	11_屋外	
被災者の人数等					※主たる被災者の状況				
区分	10_不休	11_休業 1-3日以内	12_休業 4日以上	社員	協力社員	職種	13_運転員	年齢	61才
人数			1人		1人	経験年数	5.3年	性別	10_男
施設	14_汚泥処理施設			傷病名	右手小指不全切断、右手挫滅				
設備分類	12_汚泥脱水設備			程度	50文字以内				
労働災害の種類	16_挟まれ・巻き込まれ			状況図	記入開始 記入終了				
発生状況	(誰が、何を、どうして、どうなった)								
	コンベア蛇行警報発報のため、現地にて蛇行修正作業を行っていた。脱水ケーキを片付け、コンベアを動かしながらディスクローラー周辺に溜まった脱水ケーキを除去するために、T字スクレーパーを逆手に持ち、柄の部分で脱水ケーキを突いた。 その際、T字スクレーパーがコンベアに巻き込まれ、とっさに手を離したがT字スクレーパーに手が接触し、被災したと思われる。								

労働災害調査表

一般社団法人日本下水道施設管理業協会

件名	脱水機棟2Fダクトスペース点検口開口転落事故											
発生年月日曜日	平成28年8月11日(木)			時刻	9:30		天候	11_くもり		場所	10_屋内	
被災者の人数等							※主たる被災者の状況					
区分	10_不休	11_休業 1-3日以内	12_休業 4日以上	社員	協力社員	職種	13_運転員	年齢	39才			
人数	1人			1人		経験年数	6.0年		性別	10_男		
施設	12_処理場施設			傷病名	右下腿打撲傷							
設備分類	18_その他			程度	3針縫合							
労働災害の種類	10_墜落・転落			状況図	記入開始		記入終了					
発生状況	(誰が、何を、どうして、どうなった)			 点検口開口状態  受傷時の状況  1F 倉庫室 強風 ダクトスペース 吹抜け口  600×600 □ 1200mm 深さ								
	被災者が、脱水機運転確認の為、2階脱水機棟監視室へ向かった際、監視室扉前ダクトスペース点検口が開口されていた。普段は開口しない場所ではあるが、当日は休日勤務体制で、連絡確認が上手く行かず、また場内改修工事により、脱水機棟へ工事業者が出入りしていた為、工事業者が開口したものと考え、危険性を感じたが、安全措置などせず、そのまま監視室へ入室した。運転確認を済ませ、退室する際に点検口が開口されていることを失念し、右足が点検口へ滑り落ち下腿部を打撲、切傷した。											